

平成 25 年度 岩倉北小学校 後期学校評価

すすんで学ぶ		とても満たしている		概ね満たしている		やや満たしている		満たしていない	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
子ども達は授業の中ですすんで学習に取り組めている。	児童	34	36.9	55	43.8	9.6	18.6	1.4	0.7
	地域・保護者	40.4	30.5	55.9	63.9	3.7	5.6	0	0
	教職員	22.2	28.6	72.2	64.3	5.6	7.1	0	0
子ども達は宿題などの家庭学習をしっかりと取り組めている。	児童	55	54.6	29.2	32.5	14.4	10.4	1.4	2.5
	地域・保護者	44.1	29	46	53.2	9.3	14.6	0.6	3.2
	教職員	13.9	28.6	86.1	57.1	0	14.3	0	0
学校はよく分かる授業展開のために努力している。	児童	69.5	64.2	24.2	29.8	5.8	5.2	0.3	0.8
	地域・保護者	49.1	41.1	47.8	51	3.1	7.9	0	0
	教職員	27.8	14.3	61.1	64.3	11.1	21.4	0	0
学校は子ども達の学習意欲を高める教室や学校内外の環境整備をしている。	児童	61.9	65.8	32	28.3	4.1	5.2	2	0.7
	地域・保護者	37.3	36	56.5	54.2	6.2	9.8	0	0
	教職員	10.3	7.1	68.3	71.5	21.4	14.3	0	7.1

【分析】

多くの項目において、「とても満たしている」「概ね満たしている」の合計が 90%以上を占めている。ただ、「宿題などの家庭学習をしっかりと取り組めている。」については、前期に比べ児童の「満たしていない」の回答率が上回っており、地域・保護者の「とても満たしている」が下がり、「やや満たしている」「満たしていない」が上回っている。「学校はよく分かる授業展開のために努力している」については、地域・保護者、教職員において「やや満たしている」の回答率が前期を上回る結果になっている。

【成果と課題】

児童は学習内容を覚えるだけでなく、それについてのおもいや考えをもつことで本当の理解をしていく。さらに、そのおもいや考えを一人でもっているだけに留まらず、学級の仲間と話し合うことで学習内容の理解は一層深まっていく。また、各教科には単元があり、その学習した内容や授業で扱った資料などを教室の側面に掲示していくことで、児童が内容を振り返りながらおもいや考えをもつことができた。そして、児童がおもいや考えを出し合って話し合う授業を発達段階に合わせて取り組んできた。ただ、基礎的基本的な内容の習得には、家庭学習などによって定着を図ることが必要となる。家庭学習の意義やその内容・方法について、教職員、児童、保護者の皆様も含めて、改めて考えていくことが大切であると考えている。

【来年度に向けて】

○家庭学習の意義やその内容・方法について懇談会や学級通信などを通して共通理解し、連携して取り組んでいくようにする。また、家庭で学習したことが翌日の授業で活用されるような授業との連携も図っていく。

やさしく行動する		とても満たしている		概ね満たしている		やや満たしている		満たしていない	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
子ども達は友達や周りの人に対し優しく接することができている。	児童	40.2	37.2	48.5	49.7	10.7	11.4	0.6	1.7
	地域・保護者	25.1	23.5	63.1	64.4	11.8	10.5	0	1.6
	教職員	5.3	7.1	89.4	71.5	5.3	14.3	0	7.1
子ども達は気持ちのよいあいさつができる。	児童	55.7	46.9	32	37.2	8.6	14.5	3.7	1.4
	地域・保護者	23	19.6	53.4	51	21.7	26.8	1.9	2.6
	教職員	10.5	7.1	47.4	57.2	42.1	28.6	0	7.1
子ども達は自然や芸術などに対する豊かな感性をもつことができている。	児童	41.6	46.9	33.3	34.5	20.6	14.1	4.5	4.5
	地域・保護者	31.1	29.1	55.9	51.3	12.4	17	0.6	2.6
	教職員	10.5	21.4	73.7	42.9	15.8	28.6	0	7.1
子ども達は友達や周りの人に対して正しい言葉づかいをしている。	児童	28.2	26.2	49.5	49.6	18.6	19.7	3.7	4.5
	地域・保護者	5	7.5	55.3	46.8	34.7	38.2	5	7.5
	教職員	5.3	0	31.6	35.7	57.8	50	5.3	14.3
学校は子ども達が互いに認め合い成長し合える学級づくりをしている。	児童	61.9	60.9	28.2	31.8	6.2	6.6	3.7	0.7
	地域・保護者	26.7	34.4	65.8	50.8	7.5	14.1	0	0.7
	教職員	5.3	14.4	89.4	71.2	5.3	14.4	0	0

【分析】

全体的には「とても満たしている」「概ね満たしている」の合計が80%をこえる項目がほとんどである。「自然や芸術などに対する豊かな感性」については児童において、「満たしている」の回答の割合が増えているが、地域・保護者や教職員においては「満たしている」の回答の割合が減り、「満たしていない」の割合が増えている。また、「正しい言葉づかい」については、児童、地域・保護者、教職員において「満たしていない」の割合が増えている。

【成果と課題】

児童においては、多くの項目において自分たちの現状を認めている様子がうかがえる。それに対して、地域・保護者や教職員においては1年間取組を進めてきたこともあり、現状に對してさらなる成長を期待している様子がうかがえる。

生徒指導部と児童会が中心となって1か月の行動目標を設定し、各学級で取組を行ってきた。児童は優しさや思いやりをもって友達と接したり、学級の仲間が互いに認め合えたりすることを大切であると思い行動している。また、あいさつについても、地域やPTAの方のあいさつ運動の取組などから意識して行っている児童が増え、日常の中で友達同士のあいさつを行っている姿も見られるようになってきている。ただ、言葉づかいについては、あまり改善が見られず、児童自身も問題点に気づきつつある状況であると思われる。また、自然や芸術に対する豊かな感性については今年度から評価の項目にあげており、児童や地域・保護者、教職員が意識するきっかけになったのではないかと考えている。

【来年度に向けて】

○即時的な指導とともに言葉づかいについて重点をおいた取組を行う。

○行動目標の継続的な意識付けができるようにする。

たくましく生きる		とても満たしている		概ね満たしている		やや満たしている		満たしていない	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
子ども達は自分や友達の健康・安全を考えた行動がとれている。	児童	48.2	45.2	43.2	38.6	6.5	14.5	2.1	1.7
	地域・保護者	18	17.6	60.9	55	20	26.1	1.1	1.3
	教職員	5.2	7.4	57.9	50.3	36.9	42.3	0	0
子ども達はルールやきまりを進んで守ろうとしている。	児童	47.1	49.6	39.2	36.9	11.7	12.8	2	0.7
	地域・保護者	24.2	20.6	60.3	55.2	15.5	23.2	0	1
	教職員	15.8	28.6	78.9	50	5.3	21.4	0	0

【分析】

全体としては「とても満たしている」「概ね満たしている」の割合が高いものの、前期と比べると減少している。特に「ルールやきまりを進んで守ろうとしている」について地域・保護者は「とても満たしている」「概ね満たしている」の合わせた割合が10%近く減っている。ただ、同じ項目について児童は「とても満たしている」の割合が増え、「満たしていない」の割合が減っている。

【成果と課題】

後期においても学校内の規範意識は高まっている状態であると言え、多くの児童はルールやきまりを守り、健康・安全を考えた行動をとることができている。ただ時折、楽しそうなことを優先してしまい、自分や周りの児童の安全を考えているとは言えない行動をとることがある。

【来年度に向けて】

- ルールやきまりを守ることができている行動を積極的に評価していく。
- 間違った判断をしている場合は即座に声をかけ、根拠や正しい行動について考えるように指導する。

地域・保護者とのかかわり		とても満たしている		概ね満たしている		やや満たしている		満たしていない	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教職員と保護者と地域が相互に協力し合って子どもを育てている。	地域・保護者	36.6	36.3	55	53.5	8.1	10.2	0	0
	教職員	36.8	28.6	63.2	64.3	0	7.1	0	0
学校は学校便りやホームページなどによって保護者・地域への情報発信に努めている。	地域・保護者	51.3	48.1	42.3	43.4	6.4	7.5	0	1
	教職員	10.5	28.6	73.7	28.6	15.8	35.7	0	7.1

【分析】

2つの項目ともに「とても満たしている」「概ね満たしている」の合計がほぼ90%以上をしめている。「情報の発信」について教職員で「やや満たしている」の割合が約20%増え、「満たしていない」の割合が7%増えている。

【成果と課題】

学校での児童の活躍を目の当たりにしている教職員にとって、保護者や地域の方々に伝えたいことが多くなり、振り返ってみると、もっと伝えられたのではないかという思いがする。

そのことは、それだけ児童が学校での多くの場面で自分の力を発揮しているということでもある。今後も児童の活躍の姿や教職員の意図を積極的に発信していきたい。

また、後期においても学校運営協議会の取組を初めとして様々な教育活動で直接にまたは間接的にご協力いただいた。保護者・地域・教職員が児童の現状について情報交換し、協力していくことが効果的な教育活動につながっていくと改めて感じた。

【今後の取組】

- 学級通信・学校便りやホームページなどによってさらに学校の教育活動の発信を続ける。
- 日々の授業や行事の中で保護者・地域・教職員が協力している様子についても、積極的に発信していく。

その他のご意見

- Aと記したことは、学校によせていただいた時に心にひびいてきます。感謝です。毎月送っていただきます学校便りやいろいろな行事のための広報でも感じます。
- 里山ハイキングの時にきっちりと挨拶している児童がおり、感心しました。日頃からできていることの表れだと思います。
- 今年の学芸会の劇が全員声が大きくてよかったです。
- 避難訓練の様子を少し見させていただきましたが、静かに机の下にもぐっていて、誰もふざけていたかったので成長したなあと感じました。
- 評価項目の「子どもたちは」の「たち」が答えにくいです。全体的なことを指しているのか、我が子のことを答えればいいのか分かりません。
- 視点と評価項目にずれを感じます。
- 子どもがどのように感じているのか（感じていると親が思っているのか）の項目があつてもいいように思います。また、評価した理由を書く欄があつてもいいように思います。
- 細やかなご配慮のもと、安心して学校生活を送ることができており、いつも感謝しております。
- 子ども達がお互いにきつい言葉をぶつけあったり、仲間はずれをしたりするなどの行動が気になります。担任の先生はいつも一生懸命に取り組んでくださっているので、心強いです。前向きに引っ張ってくださる担任の先生に感謝です。
- 先生によっては言葉づかいの荒さが気になります。子ども達の目は毎日先生方に向いているのできれいな言葉をつかっていただきたいです。
- いつもお世話になりありがとうございます。
- ホームページに月間および年間の予定表を早めに載せていただきたい。
- 持ち帰り給食を非常食用のものにしてはどうか。
- 季節に合った詩の掲示、社会科の授業の足跡やノートコンテストなどの掲示物がすてきだなと思いました。
- たくさんの行事のある中、子どもの目線で丁寧にお話してくださる担任の先生に感謝しています。担任の先生や校長先生がとても気持ちのよい挨拶をされているので、子どもはもちろん、親も見習いたいといつも思います。